

**製品名: Mob3C ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14017**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	22kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MOB3C
別名	MOB3C; MOBKL2C; MOB kinase activator 3C; Mob1 homolog 2C; Mps one binder kinase activator-like 2C
遺伝子 ID	148932.0
SwissProt ID	Q70IA8
免疫原	抗血清はヒト MOL2C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

**背景**

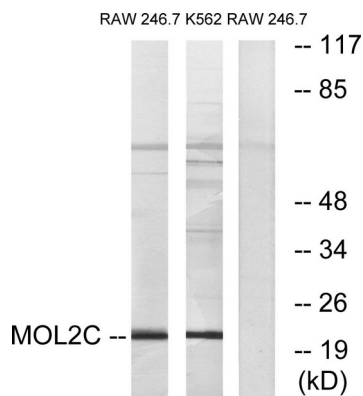
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、酵母 Mob1 タンパク質と類似しています。酵母 Mob1 は、紡錘体極体の複製と有糸

分裂チェックポイントの制御に必須のタンパク質キナーゼである Mps1p に結合します。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: キナーゼの活性を制御する可能性があります。類似性: MOB1/phocein ファミリーに属します。、

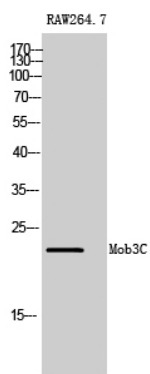
## 研究分野

-

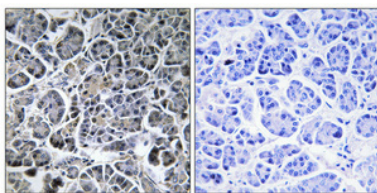
## 画像データ



RAW264.7 細胞および K562 細胞のライセートを MOL2C 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Mob3C ポリクローナル抗体を用いた RAW264.7 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。